

特集

子ども・子育ての輝くまちへ
—第2期子ども・子育て

支援事業計画策定—

町は、子ども・子育て支援施策を総合的に推進していくため、令和2年度から5年間を計画期間とする「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。今月号の特集では、その概要をお知らせします。

基本理念

子どもが、親が、
みんなとともに育つとよやま

子どもの健やかな育ちと子育てを支えることは、一人ひとりの子どもや保護者の幸せにつながることはもとより、社会の発展に欠かすことができません。そのためにも、子どもに限りない愛情を注ぎ、その存在に感謝し、日々成長する子どもとともに、親も親として成長していくことが大切です。

親や家庭が子育てを主体的に行っていくことを前提としながらも、社会全体が積極的に子育てに関わりを持ち、時代を担う子どもの健全育成を図ることが、まちの成長につながります。

『子どもが、親が、みんなとともに育つとよやま』を実現できるよう、これからも子ども・子育て支援施策を推進します。

基本的な視点

誰もが安心して子どもを生み、子育てに喜びや楽しさを感じられる社会、子ども自身が健やかに育っていくことができるまちづくりを目指します。そのためには行政だけではなく、家庭や地域など、本町に住むすべての人・組織が、それぞれの立場で、それぞれの特性に応じた役割を果たすことが重要です。そのため、計画には、次の3つの視点を掲げます。

1 子どもの視点

子育て支援サービス等の影響を直接受けるのは、子ども自身です。施策の取組みに際しては、子どもの幸せを第1に考え、子どもたちが元気にのびのびと育つことができるよう、子どもの視点に立つて進めます。また、子どもは次代の親になるという認識の下に、長期的な視野に立って、健全育成に取り組めます。

